

## 奈良県立医科大学附属病院長 選定理由書

### 1. 選考方法

病院長選考委員会（以下、「本委員会」という。）は、吉川公彦氏から提出された「履歴書」、「主な実績」、「所信表明書」及び5名の推薦者による「推薦書」並びに面談でのプレゼンテーション及び質疑応答並びに「奈良県立医科大学附属病院長選考基準」を資料として病院長選考を進めた。

### 2. 病院長選考基準に照らしての評価

基準1「臨床研修等修了医師であること」について、履歴書に記載のとおり、基準に合致している。

基準2「医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有していること」について、医療安全管理責任者経験を有し、医療安全に関するガバナンス強化と医療安全文化の醸成に向けた施策の展開について、具体的な対策を示しており、医療安全のさらなる向上を期待できることから基準に合致していると評価できる。

基準3「人との信頼関係を重視し、社会規範、コンプライアンスを遵守できること」について、現病院長として、職員との積極的な対話により良好な関係を構築し、病院長として一定の評価を得ていることから基準に合致していると評価できる。

基準4「奈良県立医科大学附属病院の理念を実現するための熱意、戦略、実行力と将来ビジョンを有すること」について、本学附属病院が奈良県民を守る最終ディフェンスラインとしての役割を理解し、令和4年4月から「24時間365日のER」の実現に道筋をつけるなどの実績、並びに今後の地域医療体制の整備に向けたビジョンを持つことから基準に合致していると評価できる。

基準5「組織管理能力等の当院を管理運営する上で必要な資質及び能力を有していること」について、現病院長として副院長やプロジェクトリーダー等との綿密な情報・意見交換による組織の意思決定、チームの合意形成、目標と成果の管理を実践していることから基準に合致していると評価できる。

基準6「法人の運営について、他の役員と一致団結して、公立大学法人奈良県立医科大学の発展に貢献できること」について、現病院長として附属病院の運営を行うとともに、中期計画目標の達成に向けて活動を行っていることから基準に合致していると評価できる。

基準7「医療従事者の新しい働き方についてリーダーシップを発揮できること」について、働き方改革推進のためのプロジェクトを立ち上げ具体的な取り組みに着手しており、更なるリーダーシップの発揮を期待できることから基準に合致していると評価できる。

基準8「臨床研究を推進するための戦略と実行力を有すること」について、病院長として臨床研究の推進に努めてきており、今後も一層の体制整備の推進を期待できることから基準に合致していると評価できる。

### 3. 結論

本委員会は、提出された「主な実績」、「所信表明書」、面談でのプレゼンテーション及び質疑応答により選考を進め、前述2のとおり、病院長選考基準に照らして評価を行った。その結果、附属病院長としての実績は申し分なく、附属病院を発展させる熱意、意欲を持ち、更なるリーダーシップの発揮に期待できる人物であるとの結論に至り、吉川公彦氏を次期奈良県立医科大学附属病院長候補者として理事長に推薦した。

本委員会からの推薦を受けた理事長は、教育研究審議会の議を経て役員会での承認を得て、吉川公彦氏を次期奈良県立医科大学附属病院長に決定した。

### 4. 選考過程

令和4年1月	5日	選考委員会の設置
	1月19日	第1回選考委員会 開催
		選考基準案の作成
		選考基準の策定、公表、公募開始
2月	3日	公募締切
	2月21日	第2回選考委員会 開催
		選考対象者との面談、質疑応答、候補者の推薦
3月	2日	役員会へ提案
3月	3日	次期附属病院長の決定
3月	4日	選定理由の公表